

A 愛東外町地先で急傾斜地崩壊危険区域の指定を行い、法面の崩壊防止対策を32年度の完成を目指し、30年度は用地測量業務が行われる予定です。

また、山上町地先でも、同様の対策工事を32年度までに行う計画です。

土石流対策として、永源寺相谷町地先の清水谷と上平木町地先の鳴谷川支流で県の砂防工事が計画されています。

30年度は2カ所とも、測量および設計業務が行われます。

地すべり対策については該当がありません。



対策が待たれる急傾斜地

①全国学力テストの現状と課題
は。
A
②文科省通知の活用は。
③子どもや教師への影響は。
④指導の充実、改善に役立
てるものであり、児童生徒の学



西日本豪雨や台風12号・20号など、記録的な大雨が続いている。今後も土砂災害が想定されるが、県の防災情報などによると、土石流や急傾斜地の崩落、地すべりなど危険個所の整備率は2割にとどまっている。当市の状況は。



下「全国学力テスト」という。)は、平均点を1点でも上げることが目的化し、子どもと教師を点数による激しい競争に追い込んでいる。

日本共産党議員団
田郷 正

全国学力テストの廃止を！

tanaka.sdp.jp

QRコード



①自分たちの地域で想定される災害・危険を事前に知ることができるのは、いかに多くの人に見てもらえるかが重要であるが、視覚障害者や読みづらい人のために音声コードを掲載しては。

②防災マップに災害時のペットの救護対策を掲載しては。

③子ども防災手帳を作成しては。

④赤ちゃん用液体ミルクは常温で保存ができ、お湯や水を必要としない。災害時に調達するための協定を民間業者と締結しては。

A ①音声コードの効果と音声で認識することが可能であるなどを、検討していくます。

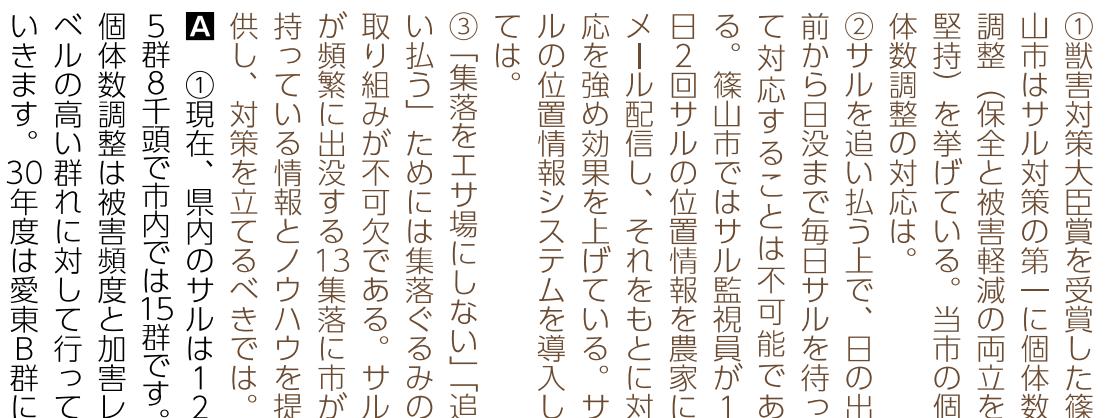
②環境省の「災害時ペットの救護対策ガイドライン」等の活用も含め、マップへの掲載を検討します。

③現在のマップを、改訂時にわかりやすく家族で話し合えるきっかけとなるものとします。



災害時に役立つ赤ちゃん用液体ミルク

感や普及・具合など今後の動向を見据え、備蓄が可能であれば検討していきます。



②位置情報の共有が追い払いの効果を上げている事例は認識しています。当市においては費用対効果を見極めながら、追い払い体制の整備状況も踏まえつつ、導入の可否を判断します。

③現在、サルの特性や被害対策についての出前講座や研修会などを行っています。また、要望があれば個々の集落にも出かけていきます。

卷之三



十八世祖性莘存事記